

9.27 sat — 10.19 sun 2025

風景 / 桼原澄人 + ALIMO

Landscape / SAKAKIBARA Sumito + ALIMO



a | SAKAKIBARA Sumito, *IIZUNA FAIR*, Animation, 2021 b | ALIMO, *Juxtaposed LAND*, Animation, 2023

開廊時間 | 12:00 - 19:00 Opening hours | 12:00 - 19:00

休廊日 | 月曜・火曜・10/15 (10/13は開廊) Closed | Monday, Tuesday and Oct.15 (Open on Oct.13)

入場料 | 無料 Admission | Free

会場 | 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA Venue | AUA Satellite Gallery SA-KURA
461-0005 愛知県名古屋市中区東桜 1-9-19-B1 BF, 1-9-19, Higashisakura, Higashi-ku,
Nagoya-shi, Aichi

主催 | 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 Organizer | Aichi Public University Corporation, Aichi University of the Arts

お問い合わせ | 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 Tel: 0561-76-2873 Inquiries | Aichi University of the Arts, Art Information
and PR Section

愛知県立芸術大学

SAKURA
AUA GALLERY



あいち
2025
灰と薔薇の
あいまに
国際芸術祭

パートナーシップ・プログラム

愛知芸大 Fine Arts & Music 芸術講座

愛知県立芸術大学にメディア映像専攻が新設された翌年から芸術講座のなかで「アニメーション」を扱ってきました。三回目となる本講座のテーマは「アニメーションとアート」です。かつて「アート・アニメーション」という言葉が日本だけで使われていました。絵画や映画にはアートという言葉は付きません。この言葉が使用されていた頃、アニメーションとアートはどのような関係だったのでしょうか。この言葉が持つ歴史には当時の作家や研究者たちの様々な思いが込められているように感じられます。今や中堅となった当時の若手作家たちは、一定の抵抗感や歯痒さを感じながら、この言葉を使わざるを得なかった世代かもしれません。

榊原澄人とALIMOは、美術館と国際映画祭を横断しながら作品発表をしています。二人は、同年代かつ特殊な立ち位置でアニメーションをアートとして発表してきましたが、およそ20年間という作家活動のなかで、これまで一度も同じ場で作品が発表されませんでした。二人ともアニメーションに絵画との親近性を感じており、描くこと、物語ること、像として映すことについて探求しています。

アニメーションは映画祭で上映されるほかに、美術館やギャラリーで展示上映される作品もあります。それらには一体どのような違いがあり、また、どのような新しい関係がアニメーションとアートにあるのでしょうか。この講座ではこうした問いへの解答の手引きとして、詩人の松井茂氏を迎え、描かれたイメージや言葉について触れながら、同世代の作家として抱えてきた「アニメーションとアート」に関する考えをお話します。

松井茂

詩人
情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授、研究科長



1975年東京生まれ。詩を書くことを通じて研究活動をしている。最近、1960年代にアメリカと日本のアートシーンで語られた「boring／退屈」に着目し、現在における芸術体験とは何か？ を研究中。著書に『虚像培養芸術論 アートとテレビジョンの想像力』（フィルムアート社、2021年）。川崎弘二との共著書に『坂本龍一のメディア・パフォーマンス マス・メディアの中の芸術家像』（同、2023年）。伊村靖子との共編著に『虚像の時代 東野芳明美術批評選』（河出書房新社、2013年）。2025年11月から水戸美術館で始まる、磯崎新展のキュレーションに参加している。

榊原澄人

アニメーション作家



1980年北海道十勝生まれ。長野県北信山麓在住。幼少を北海道で過ごし15歳で渡英。2003年度文化庁芸術家在外研修を経て、2004年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）アニメーション科を修了。私的な題材を主題に、反復／変化／フレーム構造などを用いた、複数の同一人物や物事が一つの空間内に同時多発的に映し出される映像インスタレーションを制作。平成17年度文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞をはじめ、2021年オタワ国際アニメーション映画祭ノンラティブ部門大賞など、多数の国際的なアワードを受賞している。2021年より長野県立美術館にて『飯縄縁日』が常設展示されている。

ALIMO

美術作家
愛知県立芸術大学教授



1977年山口県生まれ。インド留学、エストニア芸術アカデミー客員研究員を経て、東京藝術大学大学院にてアニメーションの学術論文で博士号取得。毎年学術発表もしており、創造的実践と史学的理論を併存させた活動をしている。アブドゥルアジーズ王世界文化センターの協力で制作した、日常と寓話と哲学を混合させた『並んだLAND』（2023）はザグレブ国際アニメーション映画祭でプレミア上映されたほか、ジョージアの映画祭で最優秀アニメーション賞を受賞した。ザグレブ現代美術館や国立新美術館、群馬県立館林美術館、Pola Museum Annex、国際芸術センター青森などで作品が発表された。第11回岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞。

日時 | 2025年9月27日 [土] 14時～16時

会場 | 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA

受講料 | 無料

定員 | 25名。事前申込制。申込〆切 9月26日 [金] 正午まで。

ただし、当日残席がある場合は、受講していただくことが可能です。直接会場へお越しください。講座中も作品鑑賞は可能ですが、鑑賞しにくい場合があります。

専用フォーム URL



SA・KURA
AUA GALLERY



主催 | 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
企画 | 愛知県立芸術大学 社会連携センター
お問い合わせ | 芸術情報・広報課
Tel: 0561-76-2873 (平日 9:00-17:30)

愛知県立芸術大学

名古屋市中区東区 1-9-19 成田栄ビル地下1階（エレベーターをご利用ください。） Tel: 052-212-9316 （地下鉄東山線栄駅徒歩6分、または地下鉄桜通線・名城線久屋大通駅徒歩7分）

アニメーションの話ーアニメーションとアート